

令和2年8月10日発行

なつ

CONTENTS No.65

議会をPick-Up! 6月定例会	2P
一般質問	3-10P
議案の審議結果	10-11P
会派通信	12P

(写真：十日町高校写真部)

6月定例会

令和2年第2回定例会

会期 6月12日～22日（11日間）

6月の定例会は、市長提出議案48件、請願1件、議会提出議案3件を審議しました。今号はこの中からピックアップ！
審議結果は10ページ下段から11ページに記載

●議会をPick-Up!



新型コロナウイルス 感染症対策経費を 追加

4月30日および5月18日に市長が**専決処分**した、一般会計補正予算第1号および第2号を全員賛成で承認しました。総額57億5155万2千円の補正となり、市制始まって以来の大規模な補正額となりました。新型コロナウイルス感染症対策としてさまざまな取り組みが行われます。主な事業は次のとおりです。

給付金、プレミアム商品券の発行、休業等協力事業者への協礼金、事業所および住宅へのリフォーム補助など
※**専決処分**＝条例や予算などは議会が議決をしなければなりません。緊急のため議会を招集する時間がない場合には、市長が議会に代わって決定することがあります。市長は、専決処分したことは、次の議会で承認を得なければなりません。



児童生徒1人1台 タブレット端末などを 整備

国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に伴う「**GIGAスクール構想**」の前倒し実施を受け、一般会計補正予算第3号を可決しました。この予算で、小学校、中学校、特別支援学校に、1人1台タブレット端末の配備や無線アクセスポイントなど高速通信施設の整備、端末と連携した電子黒板の整備やICT支援員の配置など、ハード・ソフト・人材を一体とした整備が行われます。災害や感染症の発生などに



よる学校の臨時休業などの緊急時においても、ICTの活用により、全ての子どもたちの学びを保障できる環境が、早急に実現されます。
※**GIGAスクール構想**＝児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想です。



新しい議会様式

会議ではマスクを着用、委員会は配置を変更してソーシャルディスタンスを確保、連絡手段に電子メールを用いて紙を削減するなど、新しい議会様式を実践しました。



本会議の様子（6月22日）

市長へ要望書を提出



会派長による要望（4月24日）

議員や市民からの声を会派ごとにまとめた「新型コロナウイルス感染症対策に係る意見・要望書」を市長へ手渡ししました。市長は、「要望を重く受け止め、タイムリーに先手先手で意見を政策という形にしていきたい」と述べました。



30人以下学級実現、義務 教育費国庫負担制度拡充 に係る意見書の採択を求 める請願

請願者…新潟県教職員組合 合魚沼支部 執行委員長 熊谷圭氏

【意見書の趣旨】

教員が子どもと向き合う時間の確保および多様な・複雑化する教育課題への対応のため、教職員定数を計画的に改善し、

豊かな教育環境の整備のため、小中学校の学級規模を30人以下とすること。また、義務教育費国庫負担制度を堅持すること。提出先…内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、内閣官房長官

議員自身が
テーマを決め、
市に対して直接質問
をします!

ココが聞きたい!一般質問

一般質問は、議員個人が問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。今回は、14人が、市民の生活に関わることに
ついて質問をしました。

テーマは自由

質問する内容は、議案とは
関係なく議員が自由に決め、
「通告書」に書いて締め切
り日までに提出します。

制限時間は50分

1人当たりの制限時間
は、市からの答弁も含
めて50分です。



質問 ①新型コロナウイルスの感染を考慮し、修学旅行の予定について伺います。②小・中学校、特別支援学校の休校によって見えてきた課題について、生活、学習面などお聞かせください。③ICT活用、GIGAスクール構想について望まれている声をたくさんお聞きしました。GIGAスクール構想の予算も通りましたので、GIGAスクールの構想についての説明を伺います。

答弁 ①ほとんどの学校が当初の予定を延期し、修学旅行を9月から11月に実施する予定となっております。小学校で3校が県外旅行から佐渡への変更、または変更の検討をしている状況です。特別支援学校は、当初の計画どおり実施する予定です。②生活リズムが崩れ、学習意欲が湧かず、授業に集中できないといった点が課題であると受け止めています。日常とは違う日々が続く、不安やストレスをためている児童生徒がいることも容易に想像ができます。市教育委員会としては、学級担任や養護教諭を中心にきめ細かい観察を行わせるとともに、学校からの依頼があれば、早急に市教育相談センターの職員や県のスクールカウンセラーを派遣するなど支援を行います。③児童生

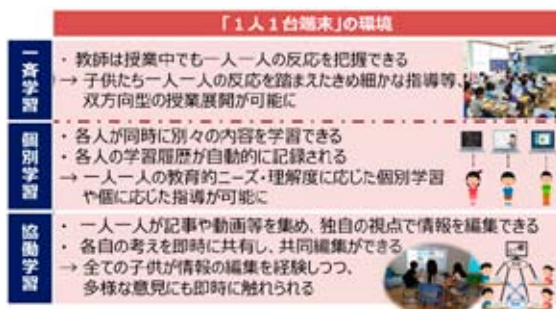


修学旅行、休校中の学ぶ機会 の確保について

大嶋由紀子 議員



徒の1人に1台の端末整備と学校内の高速通信環境の整備が主なものとなっています。整備後は、児童生徒1人1台の端末を授業で活用することにより、子どもたち一人一人の考えを即時に学級全員で共有し、共同で編集するなど、主体的、対話的で深い学びの視点での授業を推進していくこととなります。なお、市内の学校では、これまでオンライン授業を実施できる環境がありませんでした。この機会にまずは中学校を対象に実証実験を行うべく、通信環境がないご家庭には通信に必要な機器を貸与することを検討しています。



文部科学省「GIGAスクール構想の実現について」から抜粋

大嶋由紀子議員作成



新型コロナウイルスから命と医療、経済、子どもの学びを守りたい

村山 達也 議員



質問 新型コロナウイルスの感染拡大により、市民生活全般に多くの問題が出てきているので以下を伺う。①県が進める松代病院を含む病院再編、県との話し合いの現在の状況は。②コロナ禍により病院再編は再検証が必要と考えるが、市長のお考えは。③病院では処方箋の発行数が激減。病院・薬局の支援については。④経済の先行き不安定、今後のさらなる経済支援と再生対策は。⑤運動会の延期や縦割り活動の見合わせて、子どもたちの「心の学び」の減少を心配するが。

答弁 ①県病院局からは、お互いに納得するまで話を詰めるという姿勢を示していただきましたが、新型コロナウイルスへの対応で現在は具体的な協議は行われていません。②今回のような災害に匹敵する有事では、瞬時に対応できる県立病院の重要性は明らかです。医療再編・統合は、撤回を含めて見直していただくべきであると訴えてまいります。③この地域の医療資源は非常に限られていますので、現状などを把握する中で、医療機関への支援策も検討するように指示しています。④まずは、休業を余儀なくされ大きな影響を受けた事業者への支援策を講じ、次に



地域の命を守る大切な松代病院

市内の消費活動等の活性化により地域経済を復興することが重要であると考へ、経済対策を進めています。しばらくは新型コロナウイルスとの共存を想定した経済活動や社会活動が必要だと思います。市民や事業者の皆様からその点をご理解いただいた上で、経済活動、社会生活を行っていただくようお願いいたします。⑤縦割りの異学年集団による活動は、社会性の喚起、育成という面からも非常に大切な活動です。感染予防対策を十分に施した上で、徐々にその活動を進めていくということを把握しています。



新型コロナウイルス感染症対策について

山口 康司 議員

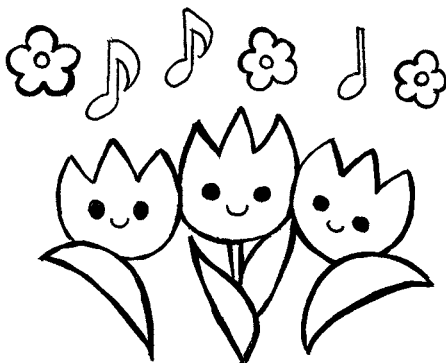


質問 小売業、飲食業、小規模事業主の今後の景気対策で、当市は他の市町村に先駆け第1弾の対策として、雇用維持継続、休業等協力事業者支援、水道料金減免、営業自粛要請へ市として10万円の上乗せ支援を発表された。また第2弾として、50%のプレミアムが付いた商品券発行事業、新しい生活様式導入促進事業として事業所および住宅リフォーム支援等、多くの支援策を出していただいた。今後も第3、第4弾と新しい支援策をお願いしたい。

答弁 まずは、大きく影響を受けた事業者の皆様へのご支援、そして市内の消費活動等を活性化すること、それらが重要と考えており、経済対策事業を進めているところです。今後は段階的に社会経済活動のレベルが引き上げられることにより、徐々に人の動きが活発になってきます。国でも様々な施策が行われる予定ですので、これらと連動し、地域の経済状況等を勘案した上で、引き続き必要な施策を行っていききたいと思います。

国の第2次補正予算は通りましたが、各市町村への配分上限枠などがまだ調整中ということで、配分が固まってきたら、できるだけ早く皆さんに具体策

を金額とともにお示ししたいと思います。今回の国の補正は、前回の配分とは少し様子が違ってくるのかもしれませんが。その辺を見通して、厳しい状況ということになれば、市民の皆さんのご協力なども得る中で、財政調整基金をはじめ十日町市のほかの子育て目的の資金や基金があり、リーマンショックの時に比べて財政出動もしやすい状況であることは間違いないと思います。そうした財源をしっかりと見て、さらなる経済政策、支援策が必要な場合には果敢に打って出たいと思っています。



がんばろう とおかまち

山口康司議員作成



ICT(情報通信技術)を活用 した教育で移住促進を

小林 弘樹 議員



質問 テレワークの普及は、移住を呼び掛けるチャンスである。そして、子育て世代の移住希望者にとって、魅力ある教育環境が整っているか否かは大事な要素となる。長野県喬木村は、学校統合ではなくICTを活用した教育によって、小規模校の課題解決を図ろうとしている。「この地域で子育てしたいが、学校がなくなるのなら他所へ移住する」と言われぬよう、喬木村のような取り組みを研究すべきと思うが、

答弁 今後、テレワークの導入がさらに進むことにより、十日町市に生活と仕事の拠点を置くことが可能になると思います。また、新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、地方での生活が見直され、移住を希望する人が増えてくるものと想像しています。

当市では、今後さらに魅力ある教育活動を推進していくため、学校と地域が一体となって取り組む特色ある学校づくりを行いたいと考えています。そして、それぞれの学校区が特色を持つことにより、市全体の教育活動を魅力あるものにして考えています。

ICTの活用については、いろいろな可能性があるということで、鋭意その取り組みに力を入れていきたいと考

小中学校の適正規模・適正配置について

地理的条件等により統合困難な事情がある場合は、小規模校のデメリットの解消策や緩和策を積極的に検討・実施する必要がある、その方法の一つとして、遠隔会議システムなどのICTを活用し、他校との遠隔合同授業を継続的・計画的に実施することが検討されています。

文部科学省「遠隔学習導入ガイドブック第3版」から抜粋

小林弘樹議員作成

えていますが、国が遠隔学習導入ガイドブックを発行していて、「地理的条件で統合がうまくできない時に補完するものとして、授業の学びを保障するために遠隔授業を検討していただきたい」と掲載しています。1人1台タブレット端末を配置できるということですので、最大限活用できるように大いに勉強していきたいと考えています。

オンライン教育は味つけの部分であり、普通の教室の中での授業が大切であって、その中でオンラインなどの授業を有効活用すべきという考え方の中で取り組みを進めたいと思っています。



新型コロナウイルスへの対応と これからの課題について

安 保 寿 隆 議員



質問 「ポストコロナ」社会について今後の経済社会のあり方、国際連帯のあり方、日本の医療のあり方、地方政治の役割、教育制度のあり方など大きく問い直されている。地域経済の見通しと対応についてどのように考えるか。

答弁 ポストコロナ社会においては、変化が加速していく社会が到来するものと思っています。今まで積み上げてきた社会から国内生産、中央ではなく地方の価値観を再認識すべき新たな局面を迎えていると考え、大きなチャンスと捉えて市政運営を行っていかねればならないと強く認識しています。

新型コロナウイルスと共存する中では、予想を見極めながら少しアクセルを吹かして総需要を高め、感染症の動向によつてはブレーキを踏んで、少しずつ経済活動を回復させ社会活動を元に戻す段階だと思っています。

質問 ①PCR検査について、今後の検査体制の充実はどうか。②医療機関や福祉施設への支援をどう考えるか。

答弁 ①保健所を通さずにPCR検査のための検体採取、診断等ができるよう検討しています。②秋冬に急増するインフルエンザと同様な症状の新型コロナウイルスとの診療の区別を検討

●魚沼地域医師数の推移 (各年12月31日現在) (人)

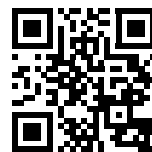
	平成22年	平成30年	増減	平成30年人口 10万対医師数
十日町市	76	58	▲18	111.9
魚沼市	53	34	▲19	95.7
南魚沼市	72	122	50	215.2
津南町	7	5	▲2	53.1
湯沢町	12	12	—	150.8
魚沼圏合計	220	231	11	143.1
新潟県合計	4,540	4,727	187	210.5
全 国				246.7

安 保 寿 隆 議員作成



十日町市における新型コロナウイルス関連について

高橋 俊一 議員



質問 ①市内の医療機関や介護福祉施設、教育機関におけるクラスター防止対策はどうなっているか。②全国では休業者が600万人にも膨らんだが、市内ではどれほどか。中でも解雇に結び付きやすい非正規社員の実態は見えているか。③コロナ関連の逼迫した状況において、市役所ではオンライン会議などが機能していたか。④3密の厳禁が叫ばれる中で、多くの企業が一挙にテレワークに動き出した。当市はそこから来るはずの移住、定住者を呼び寄せる対策はあるか。

答弁 ①2月下旬には、市内の全介護施設で面会制限が実施され、事業所によつてはオンライン面会など新たな取り組みも行われています。医療機関でも感染防止対策として独自の基準を設けるなど、徹底した対応が取られています。保育施設や小中学校では、園児や児童生徒に感染予防を行い、教室等での3つの密を回避するなど、工夫を凝らした対応を行っています。②十日町管内の休業人数は、統計的なカウントがまだできておらず、また、正規、非正規の区別もなく処理されている状況です。引き続き、ハローワークからの情報収集、事業所への個別ヒアリングを徹底し、休業状況の把握に努めます。③4月27日にオンライン会議システムを導入し、様々な業務で活用しています。5月末までの会議実績は21件で、ほぼ毎日利用したという状況です。④働き方だけでなく、人生設計そのものについて見つめ直す人々の受け皿となるよう、テレワーク、オンライン会議等ができる環境をまず整えたいと思います。また、国の交付金を活用し、気軽に移住体験ができる制度を新設するほか、単身移住者の定住支援制度拡充など、様々な施策を重層的に展開します。

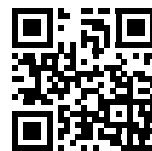


閉業した介護老人保健施設「きたはら」を改築して今年4月に竣工した「特別養護老人ホームなの花」



これからの部活動の在り方と安全運転サポート事業について

根津 年夫 議員



質問 ①新型コロナウイルスで中高生の部活動に影響が出ている。高校入試では部活動は評価対象で進路に影響がある一方、3年生の中には、高校受験に切り替え、代替大会は必要ないという声もある。市独自の代替大会の予定と今後の部活動の在り方について伺う。②少雪時のスキー競技の課題と対策について伺う。

答弁 ①運動部の代替大会については、市スポーツ協会や各種スポーツ団体、中学校体育連盟において検討を進めると伺っています。また、文化面でも、今後、新型コロナウイルスの状況を注視しながら、各学校独自で秋に成果発表する機会を設ける方向で検討していると伺っています。5月に県保健体育課から部活動実施上の留意事項について通知が出され、この通知を参考に、各学校で安全安心な部活動を実施することが課題となっています。今後、新しい部活動の在り方を学校と連携しながら検討を進め、部活動を支えていきます。②津南町などの他自治体に会場を変更して開催することも考えられますが、児童生徒の輸送、大会運営などの課題がありますので、主催者と相談の上、検討していきたいと考えています。

質問 高齢者の交通事故防止の一端を担う、安全運転サポート事業の普及啓発活動と自動ブレーキ搭載のサポカーへの補助金制度導入について伺う。



充実した学校生活を



ありがとう国保川西診療所 市は重要性の再認識を

星名大輔 議員

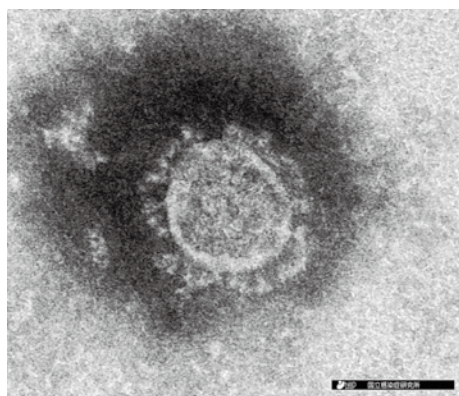


質問

① 休日救急診療を行う場所について、一度は国保川西診療所から医療福祉総合センターに移転しながら、再び医療福祉総合センターから国保川西診療所へ戻した経緯は。② 新型コロナウイルス感染症の流行下において、国保川西診療所は、県立十日町病院等の医療機関や医療福祉総合センターを感染拡大による医療崩壊から防ぐ極めて重要な役割を担っている。この地域の医療提供体制における国保川西診療所の位置付けをどのように考えているか。

答弁

① 新型コロナウイルスの感染防止に万全を期した措置です。医療福祉総合センターは、発熱患者用の診察室や待合室を別に設けるなど、感染症対策を講じて建設をしたのですが、このたびの新型コロナウイルスは、その治療方法やワクチンの実用化などに至っていないことから、他の患者や医療従事者の皆さんの安全を第一に考えた結果、診療室や待合室などが複数あり患者の動線を完全に分離することができ川西診療所に早い段階で戻すこととしました。現在、休日救急は、全ての患者から一旦車内で待機してもらい、電話で問診した上で、感染が疑われる患者との振り分けを行い、症状によ



新型コロナウイルスの電子顕微鏡写真像
(出典：国立感染症研究所)

て動線や診療室を完全に分離させる対策を取りながら、市民だけでなく市外の方からも利用いただいています。また、診察に当たられている先生方、薬剤師、看護師等の中にも、市外から参画されている方もいらつしやいます。こうした皆様のご協力をいただくことで、安定した運営ができています。

② 医療資源が限られているこの圏域において、急な傷病にも対応する一次医療機関であるとともに、地域住民のかかりつけ医として、プライマリーケアを担う大変重要な役割を果たしている医療機関であると認識しています。



コロナ禍の農業について

滝沢 繁 議員



質問

コロナ禍で当地の農業も影響を受けている。① 肥育牛、繁殖牛農家が相場の下落で廃業を考える農家も出ている。国の牛マルキンという制度では下落の9割が補償されるが、今回は生産者の積立金が免除されたため、67.5%しか補償されない。市はその差額を補填し、農家を励ますことができないか。② 花き農家も相場崩れで大変。全国でも市が独自に支援している所はたくさんある。今だからこそ支援策の紹介や手続きを支援すべきでは。

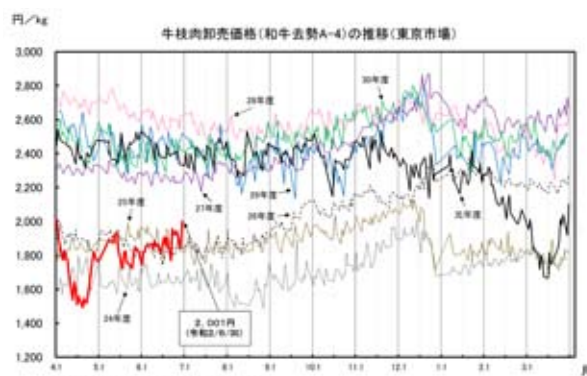
答弁

① 生産者、JA十日町に対して聞き取り調査と市場動向の確認を行った結果、4月の相場の平均価格は最安値を付けましたが、緊急事態宣言が解除された5月以降は徐々に回復傾向と伺っています。市場価格の低迷による影響が懸念されますが、営業自粛を余儀なくされたほかの産業の皆さんに比べ、持続化給付金の対象となる状況ではないのではないかと認識を持っています。今後も市場動向を注視しながら、必要に応じて生産者の皆さんに対する支援を検討したいと思えます。現在、国の補正予算でも様々な支援が出てきています。経営補助金や子牛に対する補助金など予算化されています。

質問

この部分をもう少し研究して、生産者の方とじかにお会いした中で、必要な支援を考えていきたいと思っています。② 今回の補正予算について、これから国の説明が市町村に対して行われますので、農業者が活用できる制度を適切に情報提供し取り組んでいきたいと思っています。また、新たな制度などをしっかりと積み重ねた中で、当地域の農家の皆様が使えそうな制度を分かりやすくお伝えできればと思います。

※牛マルキン＝標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合、その差額の9割を交付金として交付する制度



農林水産省ホームページから



コロナウイルスとJR東日本 と東京電力に市独自政策を!

樋口利明 議員



質問 ①痛みを共にし、血の通い合う政治と行政を実行すべく、期末手当の半額(総額2億円)を削減し、コロナ対策に振り向けよ。②JR東日本の宮中ダム全面改築の要求と市の維持流量発電事業を並行して行い、同時に実現すべく、JR責任者とトップ交渉を!

③東電の柏崎原発と送電線に係る諸問題について、東電に直接説明を求め、当市個別の課題について直接交渉を行い、再稼働の判断と時機に備えるべきと考えるが、市長の最新所信は?

答弁 ①当市としては、国の地方創生臨時交付金、また財政調整基金を活用して、感染防止対策、生活支援をはじめ地域の社会経済活動を確実にお支えするように補正予算を編成し、取り組んでいます。財政調整基金の積み増しや特定目的基金の積み立ても行ってきました。こうした財源を有効に活用し、継続的な支援に取り組んでまいりたいと考えています。

②現状ではダムの健全性に問題がないとJR東日本や国土交通省から伺っていますので、直ちにダムの改築をJR東日本に求める考えはありませんが、将来ダムを改築することがあれば、維持流量発電施設の併設をお願いしたいと思っています。



宮中ダムのいま

③避難方法や避難道路に関し、新潟県と東京電力との間で協議が行われており、市が直接、東京電力に説明を求めることはしていません。また市道や林道、農道は市が管理をし、そのほかの管理道路は建設の際に地元の所有者と東京電力との間で協議され、維持管理等が行われていると認識しています。柏崎刈羽原発の再稼働に関しては、県の3つの検証の技術検証委員会の動向を注視しながら、これまでどおり原子力安全対策に関する研究会を通じて、県に対し原子力政策に関する要望等をお伝えしたいと考えています。



学区再編とポストコロナの 市づくりを問う

藤巻 誠 議員



質問 学区再編について①学区再編では、小学校で複式学級の解消、中学校で1学年2学級以上を再編の基準としてきたが、それ以外の、重要な課題が十分議論されてこなかったのではないかと。実態はどうか。②総合計画に位置付けられている義務教育学校を無視したのはなぜか。③方針策定後の説明会で出された、各地域の動きを知りたい。

答弁 ①説明会での多数のご意見については、今後、市教育委員会と課題について協議し、総括したいと考えています。②まつのやま学園の議論の中で、義務教育学校よりも、併設型の小中一貫校が教員の配置が有利ということを選びました。③馬場小学校区では一旦統合を見送り、東小学校区では、保護者向けのアンケートで賛成回答の割合が高い結果になり、橋小学校区では、振興会が統合に反対する要望書と署名を提出、松代地域では、振興会、後援会および同窓会が連名で松代中学校の廃止・統合に反対し、存続を求める要望書と署名を提出しています。市教育委員会では、学校の再編を一方的に行うことはなく、地域の皆さんと意見交換をしていきたいと考えています。

質問 ポストコロナの市づくりについて

●今後7年間の中学校生徒数の推移 (人)

学校名	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
十日町中	180	187	187	202	184	185	173
中条中	151	155	153	151	140	171	171
南中	257	272	272	289	279	270	268
吉田中	52	47	51	53	55	45	42
下条中	70	79	81	84	79	71	64
水沢中	116	109	109	108	111	107	103
川西中	127	125	122	138	137	141	123
中里中	103	100	98	107	95	93	92
松代中	57	56	69	69	59	45	41
松之山中	22	32	33	29	19	21	23

藤巻誠議員作成

て①第3次以降の重点的な取り組みは。②当市の経済と市税の見直し③ポストコロナの「選ばれて住み継がれる」トップリーダーの意気込みは。

答弁 ①生命を守るための感染防止対策と生活を守るための経済対策を、その時々状況の的確に捉え、決断していく所存です。②さまざまな経済対策を進めています。③財政、魅力、市税については、国の税制改正に合わせ、市税については、国の税制改正に合わせて支援策を講じます。④財産、魅力、市税については、国の税制改正に合わせ、市税については、国の税制改正に合わせて支援策を講じます。⑤財産、魅力、市税については、国の税制改正に合わせ、市税については、国の税制改正に合わせて支援策を講じます。



「コロナ禍」緊急事態宣言解除後の の当市経済活動の予測と対策は

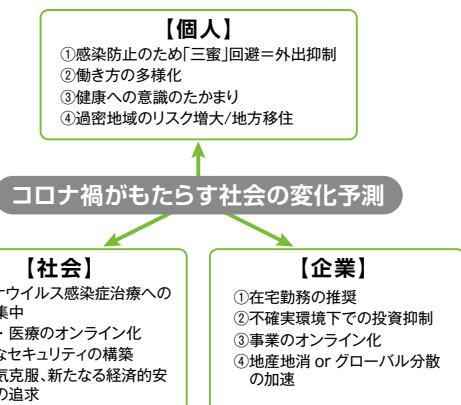
小野嶋哲雄 議員



質問 私権制限を伴う緊急事態宣言も解除され、感染症対策は新たな局面に入り、第2波対策も含め今後は各自治体の手腕が問われているが、次の点について問う。①市民の消費活動の状況分析は。②令和2、3年度における自主財源等の歳入確保と財政調整基金の推移予測は。③コロナ禍の終息は長期化が予測されるが、当市の「経済の再生と失速対策」として状況により追加補正予算の計上予定は。④コロナ禍との共存が求められるが、新たな地域再生戦略は。

答弁 ①製造業、飲食業、宿泊業、織物関連業で落ち込みが多い傾向があり、これらの業種は従業員数も多いので、市民生活への影響も甚大と感じています。②市税全体として令和2年度の予算額は確保できる見込みです。令和3年度は先行き不透明であり、現状で具体的な数値を示すことは困難ですが、引き続き今後の経済指標等を注視しながら令和3年度の予算編成に備えてまいります。財政調整基金は約19億9千万円の残高です。今回の臨時交付金など国配分資金を活用の上、財政調整基金、それ以外の特定目的基金などの配分を考えながら、この未曾有の危

機に当たりたいと思います。③国の臨時交付金を有効に活用しながら、第3弾の施策をお諮りしたいと思っています。第4弾ですが、これからの動向次第で当然考えなければいけないと思っています。④継承すべき施策は継承し、そしてコロナによって加速されるであろう、デジタル化などの新たな動きに十分に対応した施策にも取り組むみたいと思っています。地域の魅力、さらに強みを生かし、そして移住者が増え、市民の期待が膨らむまちづくりを進め、選ばれて住み継がれるまちの実現に向けて引き続きまい進する所存です。



小野嶋哲雄議員作成



人口減少における地元企業の 人手不足の対応について

福崎哲也 議員



質問 特に女性雇用が進まない業界の女性雇用について、どのような思い、考えがあるか伺う。

答弁 地域の生産力を高めるには、女性が高齢者と並んで非常に大きな役割を果たすと思っています。当市では、女性が安心して就業できるよう、学童保育など子育て環境の整備に力を入れてきました。若い子育て世代の皆さんもそうした社会インフラを利用し、地域の課題解決のためにも頑張っていたきたい。そのためには、今後も制度を充実させるよう、支援していきます。

質問 労働力不足解消の対応として、外国人労働者についてどうお考えか。

答弁 今後、当市の産業界、製造業、サービス業にとつても非常に有力な戦力になり得ると思われまします。市としても民間の事業者と連携する形で、高齢者、女性、優秀な外国人という3本柱で労働力を形づくる方向で向かっていますし、今後もそうした方向性は重要ではないかと思っています。

質問 労働力需要を減らすことについては、自動化やAI・IT技術など近い将来、公共交通の自動運転化や無人除雪車など人力回避できるまちとして市もしっかりと取り組んでいかなければ

ばならないと思うが、スマート化に関する市長の考えは。

答弁 今年度、農水省のスマート農業に合格し、今まさにスタートしており、非常に期待をしています。公共交通の維持も非常に難しくなっている中で、いわゆる5G、当市においてはもう数年かかるかもしれませんが、今から準備するには十分な助走期間が保てます。そうした社会に対応できるように、遅れを取らぬようにしっかりと準備し、人口減少していく中で、大変大事な課題に積極的に取り組むたいと思っています。



国土交通省ホームページから



歴史的緊急事態下における 大胆な改革と実行について

小林 均 議員

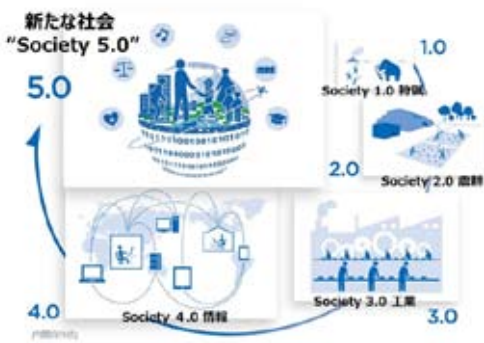


質問 新型コロナウイルス感染防止と経済復興について①特別措置法の段階的緩和と第2波防止について②経済復興対策について

答弁 ①国および県の段階的緩和を踏まえ、市が経営する公共施設や観光施設については、6月18日までは県民限定、19日からは段階的に県外の方の利用もできるようにします。また、医師会などから助言をいただき、当市独自の予防対策ガイドラインを作成しています。今後、かかりつけ医からの紹介で診察並びに検査を一元的に行うように医療体制を整備し、介護施設などで万が一感染が発生した場合に向けた体制整備の準備を進めています。②飲食業や宿泊業など影響の大きかった業種に対し、テイクアウト等の情報発信支援や、県の休業要請への協力金の上乗せなどの対策を実施したところです。現在は、市民の外出機会の創出につなげ、市内経済にお金が回るように取り組みを行っており、事業効果を見極めながら、今後も必要な施策を行ってまいります。

質問 ICT化と諸施策について①コロナ対応オンライン手続きの課題と問題点②今後5G時代に向けた諸施策

答弁 ①特別定額給付金の手続きについて、6月1日現在、全国で43の自治体がオンライン申請の受付を中止または休止しています。申請後の手作業、誤入力、暗証番号間違いに加え、二重申請もあり、確認に手間がかかることから、オンライン申請を取りやめる自治体が増えているということです。②今年度策定中の第二次十日町市総合計画後期基本計画の策定部会において、専門チームを組織し、5G技術によるSociety 5.0社会を目指した施策の展開について検討を進め、その上で、時代の流れを的確に捉えた事業を速やかに実施したいと考えています。



内閣府ホームページから

議案の審議結果



6月定例会議決結果

議案番号等	件 名	付託委員会	採決状況	議決結果
市長提出議案	48 専決処分の承認（令和元年度十日町市一般会計補正予算〔第8号〕）	—	全員賛成	承認
	49 専決処分の承認（十日町市税条例等の一部を改正する条例）	—	全員賛成	承認
	50 専決処分の承認（十日町市都市計画税条例の一部を改正する条例）	—	全員賛成	承認
	51 専決処分の承認（十日町市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	—	全員賛成	承認
	52 専決処分の承認（令和2年度十日町市一般会計補正予算〔第1号〕）	—	全員賛成	承認
	53 専決処分の承認（令和2年度十日町市水道事業会計補正予算〔第1号〕）	—	全員賛成	承認
	54 専決処分の承認（令和2年度十日町市簡易水道事業会計補正予算〔第1号〕）	—	全員賛成	承認
	55 専決処分の承認（令和2年度十日町市一般会計補正予算〔第2号〕）	—	全員賛成	承認
	56 農業委員会委員の任命（むらやまたかよし 村山隆義氏）	—	全員賛成	同意
	57 農業委員会委員の任命（ながつとしお 長津俊男氏）	—	全員賛成	同意
	58 農業委員会委員の任命（にわのきよし 庭野喜由氏）	—	全員賛成	同意
	59 農業委員会委員の任命（すどうひでお 須藤英雄氏）	—	全員賛成	同意
	60 農業委員会委員の任命（こんどうまさお 近藤正男氏）	—	全員賛成	同意

議案番号等		件名	付託委員会	採決状況	議決結果
市 長 提 出 議 案	61	農業委員会委員の任命（ むらやま たろう 村山太郎氏）	—	全員賛成	同 意
	62	農業委員会委員の任命（ こばやし かんじ 小林幹司氏）	—	全員賛成	同 意
	63	農業委員会委員の任命（ きたむらこう たろう 北村公太郎氏）	—	全員賛成	同 意
	64	農業委員会委員の任命（ ひぐちとみゆき 樋口富行氏）	—	全員賛成	同 意
	65	農業委員会委員の任命（ しま だかつひろ 島田勝広氏）	—	全員賛成	同 意
	66	農業委員会委員の任命（ こたか きとる 古高 悟 氏）	—	全員賛成	同 意
	67	農業委員会委員の任命（ とみ い こういち 富井公一氏）	—	全員賛成	同 意
	68	農業委員会委員の任命（ わか い きみお 若井君男氏）	—	全員賛成	同 意
	69	農業委員会委員の任命（ すが い たいち 菅井太一氏）	—	全員賛成	同 意
	70	農業委員会委員の任命（ たかはしきよかず 高橋清一氏）	—	全員賛成	同 意
	71	農業委員会委員の任命（ むらやまこういち 村山浩一氏）	—	全員賛成	同 意
	72	農業委員会委員の任命（ みずしたまさゆき 水品正幸氏）	—	全員賛成	同 意
	73	農業委員会委員の任命（ さ の ゆきお 佐野幸男氏）	—	全員賛成	同 意
	74	農業委員会委員の任命（ かわ だ だし 川田 正 氏）	—	全員賛成	同 意
	75	農業委員会委員の任命（ ね つ とくお 根津徳男氏）	—	全員賛成	同 意
	76	農業委員会委員の任命（ むらこします お 村越益男氏）	—	全員賛成	同 意
	77	農業委員会委員の任命（ かなざわしげる 金澤 茂 氏）	—	全員賛成	同 意
	78	農業委員会委員の任命（ しげ の こ 重野りえ子氏）	—	全員賛成	同 意
	79	農業委員会委員の任命（ ひぐちのりお 樋口則雄氏）	—	全員賛成	同 意
	80	人権擁護委員候補者の推薦（ かいほつちか こ 開發周子氏）	—	全員賛成	同 意
	81	市道の認定（北原 7 号線）	産業建設	全員賛成	原案可決
	82	十日町市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定	厚 生	全員賛成	原案可決
	83	十日町市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定	厚 生	全員賛成	原案可決
	84	十日町市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定	厚 生	全員賛成	原案可決
	85	十日町市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定	厚 生	全員賛成	原案可決
	86	十日町市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定	厚 生	全員賛成	原案可決
議 案	87	令和 2 年度十日町市一般会計補正予算（第 3 号）	—	賛成多数	原案可決
	88	令和 2 年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	—	全員賛成	原案可決
	89	令和 2 年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第 1 号）	—	全員賛成	原案可決
	90	令和 2 年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	—	全員賛成	原案可決
	91	令和 2 年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	—	全員賛成	原案可決
	92	令和 2 年度十日町市水道事業会計補正予算（第 2 号）	—	全員賛成	原案可決
	93	令和 2 年度十日町市簡易水道事業会計補正予算（第 2 号）	—	全員賛成	原案可決
	94	令和 2 年度十日町市下水道事業会計補正予算（第 1 号）	—	全員賛成	原案可決
	95	令和 2 年度十日町市一般会計補正予算（第 4 号）	—	全員賛成	原案可決
	96	令和 2 年度十日町市一般会計補正予算（第 5 号）	—	全員賛成	原案可決
請願	1	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択を求める請願	総務文教	全員賛成	採 択
議 会 提 出 議 案	3	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	—	全員賛成	原案可決
	4	新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書	—	全員賛成	原案可決
	5	議員派遣	—	全員賛成	原案可決

賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。（○：賛成、×：反対、－：欠席）
※鈴木一郎議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

議案番号等	議決結果	賛成（起立）	反対（着席）	いしずえ 礎					自由の風				だ い ち				日本共産党 十日町市議団				さ く ら			さん し かい 三 矢 会			議長
				小林弘樹	福岡哲也	富井高志	宮沢幸子	水落静子	藤巻誠	山口康司	根津年夫	庭野政義	吉村重敏	樋口利明	小林正夫	小野嶋哲雄	太田祐子	安保寿隆	鈴木和雄	滝沢繁	遠田延雄	大嶋由紀子	高橋俊一	村山達也	小林均	星名大輔	
87	原案可決	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	※

会派通信

さくら



「十いろ」 成年後見・終活
サポートの研修

子どもたちの未来の状況に合わせてオンラインとオフラインはどちらも必要なものです。ICTを「上手に活用」することにより、児童生徒の力を最大限に引き出す教育の一端を担うものとなります。

① 私たち会派さくら（遠田延雄、大嶋由紀子、高橋俊一）の活動を紹介します。多くの日本人が愛する「さくら」の花を会派名としました。市民の皆様の思いに寄り添い、現場を拝見し、お話を伺う活動を心がけ、議会では一般質問として皆様の声を届けてまいります。ご相談や聞いてほしいことなどお気軽にご連絡いただける幸いです。

② コロナウイルスにより、長い休校で子どもたちの学びが見直されます。年度中に市内の小

中学校の子どもたち全員に1台ずつタブレットが配置されます。休校でなければ必要ないのでは？と思われる方もいるかもしれませんが、タブレットだけ使用していれば良いということではありませんが、



子どもたちの力を最大限に引き出すICT環境の研修

子どもにも迷惑をかけたくない、かけられないと思っている方は多いと思います。自分の死を現実的に考えることは、難しいです。自分の意思をしっかりと伝えられるうちに、財産の管理や福祉サービスなどを決めることが大事です。成年後見や終活のプランを先手で備えていく必要がある。高齢化の時代に必要であることを、「十いろ」での研修を通じてさらに痛感しました。

永年在職表彰



◎在職15年以上
鈴木和雄 議員



◎在職20年以上
太田祐子 議員

去る4月22日に書面で開催された第95回北信越市議会議長会定期総会、および5月27日に書面で開催された第96回全国市議会議長会定期総会において、永年在職表彰を受けました。

表紙写真について

今月号の表紙は十日町高校写真部の作品です。

十日町高校写真部



今年度は新型コロナウイルスの影響で、1学期は思うような活動ができませんでした。楽しみにしていた恒例の行事や大会がなくなってしまい、とても残念です。特に、3年生は最後の年だったので、悔しかったです。でも、新入部員がたくさん入ってくれてよかったです。現在20人ほどで活動しています。残りの期間もできるだけたくさん写真を撮りたいです。

あとがき

新型コロナウイルスが地域経済、医療体制、教育問題などに深刻な影響を与えていることから、今回の一般質問もそのほとんどがコロナ対策に集中していました。

特に、今まで常識だったものが不安さえ覚えてくる「医師会の緊急事態宣言」などは驚きを隠せないものでした。人工呼吸器は数台、エクモは1台もない。これで大勢が感染したら救える命も救えない。PCR検査充実、今後の医療体制の拡充を願う声、自粛と補償を裏付ける声、学校での密を避けることなど、コロナ対策と学区再編が必要などの声が上がりました。市民の声が届く議会に私たちも頑張ります。

滝沢 繁

発行：新潟県十日町市議会
編集：議会だより編集委員会

〒948-8501
十日町市千歳町3丁目3番地
TEL 025-757-3119
FAX 025-757-5999
E-mail: t-gikai@city.tokamachi.lg.jp